



自主
健康
友愛



←学校HP
はこちら

まなびフェスト結果について

A：あてはまる B：あてはまるほうだ C：あまりあてはまらない D：あてはまらない
各項目において、肯定的回答（A+B）の割合が80%以上になることを目指しています。

【自主】自ら考え、進んで学習する生徒

目指す生徒の姿／学校の取組／家庭の協力	回答者	肯定的回答(%) ()は昨年度末結果
自ら学ぼうとする わかりやすい授業、学ぶ意欲を育む授業 夢・進路・学ぶ意欲を育む言葉かけ	生徒 教員 保護者	88(91) 91(90) 82(78)
自分の考えを深めたり、広げたりする 調べ学習、対話的な学びの場、読書指導の充実 子供との対話、よい本に触れる機会	生徒 教員 保護者	87(91) 82(90) 63(57)
学習状況を把握し、自ら改善する 授業の振り返り、授業と連動した家庭学習 学習に集中できる環境整備	生徒 教員 保護者	89(86) 82(90) 74(64)

取組成果・今後に向けて

- ・【自ら考え、進んで学習する生徒】生徒アンケートの結果（肯定的回答）は、3つの項目全て80%を超える状況となりました。大切なのは、「自分の将来を見つめ、自分の学びを探究し続ける意欲と実践力」を育むことだと考えます。
次年度も自分に合った学習スタイルを考え、実践できるように「学習習慣と自己調整力」を向上させる取組を推進して参ります。
- ・【保護者の意見等から】ご家庭から「家庭で読書する機会」に苦慮しているとの意見をいただきました。学校では、朝読書（新聞記事を活用した YOMU よむを含む）、学習委員会での取組（読書マラソン、図書紹介など）を通して、読書指導や読書意欲の向上に取り組んでいます。次年度も学校での取組を充実させるとともに、家庭と一体となり、本を読むことの楽しさを味わわせる取組を推進していきたいと考えています。

【健康】たくましい心身をもち、実践力のある生徒

目指す生徒の姿／学校の取組／家庭の協力	回答者	肯定的回答(%) ()は昨年度末結果
生活リズムが整っている 学習・睡眠・メディア時間を自らが決め評価する場 規則正しい食事・睡眠・メディア時間、ルール作り	生徒 教員 保護者	80(87) 73(90) 69(62)
安全感覚を備えている 防災学習・交通安全・犯罪に巻き込まれない指導 通学路の危険箇所・緊急避難先の確認	生徒 教員 保護者	97(95) 100(90) 72(77)

心身が健康である やりがいある活動・心のケア・SOSの出し方 子供の表情・変化の観察、通院・早期治療	生徒 教員 保護者	91 (96) 100 (80) 98 (95)
--	-----------------	--------------------------------

取組成果・今後に向けて

- ・【**たくましい心身をもち、実践力のある生徒**】生徒アンケートの結果（肯定的回答）は、3つの項目全て80%を超える状況となりました。「規則正しい食事・睡眠」に関わる生活リズムについては、一日のスタートに欠かせない極めて重要な項目であり、ご家庭でのしっかりとご指導等により良好な状況となっています。また、「心身が健康である」の項目については、教員や保護者の評価がとても高くなっています。日常の子どもとの会話や表情の変化から気づいたことに対して、すぐに適切な対応を行っていることがうかがえます。引き続き、子どもたちの心身の健康のために、学校と家庭の連携を大切にしていきたいと考えます。
- ・【**保護者からの意見等**】「メディアに関してなかなか守れないご家庭が多いようです」などメディアコントロールに関するご意見をいただきました。この課題は、家庭差が大きく、生活習慣や学習、友達関係にも影響をしてくる現状もあり、各家庭にすべて任せるのではなく、家庭と家庭、家庭と学校、家庭と地域との協力が必要です。メディアコントロールに焦点をあてて、学校（小・高を含む）・家庭・PTA・地域が連携、協力した取組を検討していきたいと考えます。

【友愛】 郷土を愛し、心豊かな生徒

目指す生徒の姿／学校の取組／家庭の協力	回答者	肯定的回答(%) ()は昨年度末結果
良好な対人関係をつくる 多様性を尊重する集団づくり、教育相談の充実 あいさつの励行、会話	生徒 教員 保護者	95 (95) 100 (100) 96 (99)
自分のよさがわかる 生徒一人一人の活躍の場、よさや成長を認める声がけ 子供の成長やよさ、感謝の言葉、家庭での役割	生徒 教員 保護者	75 (82) 100 (100) 89 (89)
郷土や人の役に立ちたいと思う 郷土学習、地域との関わり、ボランティア活動 親子での地域行事・活動への参加	生徒 教員 保護者	93 (96) 100 (90) 65 (64)

取組成果・今後に向けて

- ・【**郷土を愛し、心豊かな生徒**】生徒アンケートの結果（肯定的回答）は、「自分のよさがわかる」の項目以外80%を超える状況となりました。「自分のよさがわかる」について、学校では、郷土学習やボランティア活動などを通して、よさや小さな成長を認め、生徒たちが失敗を恐れず様々なチャレンジを行っていけるよう、教師や地域の方々の肯定的な関わりや、生徒同士の認め合いの場を多く設けてまいりました。また、各家庭においても、子どものよさを理解し、感謝や成長への肯定的な言葉がけを行っていただきました。次年度も教師、保護者、地域の方々からの肯定的な言葉がけを行うとともに、部長会を中心に取り組んでいる「ポジティブ語（ペップトーク）」による信頼関係の構築に努め、生徒の自己肯定感を高めることを進めていきたいと思います。
- ・【**保護者からの意見等**】「岩中太鼓などを通して、地域のイベントに参加するのは素晴らしい活動だと思います。」や学校運営協議会では「岩中太鼓やボランティアなど、地域の方々に感謝される機会をつくるのが大切である。」など岩中太鼓やボランティア活動に関わるご意見をいただいています。生徒会では「ボランティア」「岩中太鼓」を三大文化に掲げて、積極的に取り組みが行われています。次年度も生徒の自主的・主体的な活動を尊重し、地域と連携・協働した教育活動の充実に努めて参ります。